

「オフィスビルに対するステークホルダーの意識調査2026」 調査票

＜ご注意＞

- Webアンケート回答画面とは各設問の回答画面表示の仕方が異なる場合がございます。
- 実際のWebアンケート回答画面では、各設問の回答内容によっては、以降の選択肢が一部非表示（設問間の回答内容に整合性がとれない回答を制限するため）となる場合がありますので、予めご承知おきください。
- 紙媒体でご回答の場合には、各設問で該当する回答項目の左コに✓をお願いします。
また、数値回答や自由回答の場合には、所定の箇所に記入をお願いします。

＜ご参考：本調査の設問一覧（概要）＞

※ 実際の設問は次頁以降に掲載しております。

企業の属性に関する設問①（全5問（最低5問））	
Q1	本社所在地
Q2	本社の保有・契約形態
Q3	本社の使用面積
Q4	本社ビルの延床面積
Q5	本社ビルの築年数
テナント現状分析に関する設問（全4問（最低3問））	
Q6	オフィス出社率
Q7	人材育成・確保のためのオフィス整備の優先度
Q8	オフィス変更検討状況
Q9	オフィス変更理由（※）該当者のみ回答
オフィスニーズに関する設問（全2問（最低1問））	
Q10	オフィス選択基準
Q11	セキュリティ設備（※）該当者のみ回答
インフレに関する設問（全2問（最低2問））	
Q12	インフレの賃料負担許容度
Q13	インフレ時の優先的設備
環境配慮/ウェルビーイングに関する設問（全8問（最低6問））	
Q14	環境性能を高めたビルに対する賃料負担許容度
Q15	賃料負担してもよいと思う環境性能の要素（※）該当者のみ回答
Q16	ビルに望むウェルビーイング関連の設備・サービス
Q17	従業員のストレス軽減
Q18	従業員の働きやすさや健康につながる設計等
Q19	採用に影響した ウェルビーイングの要素
Q20	ウェルビーイング対応したビルに対する賃料負担許容度
Q21	賃料負担してもよいと思うウェルビーイングの要素（※）該当者のみ回答
改修に関する設問（全2問（最低0問））	
Q22	築古ビルの適した改修ポイント（※）該当者のみ回答
Q23	築古ビル改修の賃料負担許容度（※）該当者のみ回答
DXに関する設問（全2問（最低2問））	
Q24	AI・デジタル活用によって期待するもの
Q25	入居ビルに導入してほしいデータ関連サービス
エリアマネジメントに関する設問（全1問（最低1問））	
Q26	エリアマネジメントに関する取組の効果
企業の属性に関する設問②（全5問（最低4問））	
Q27	業種（大分類）
Q28	国内支社・支店を含めた単体の従業員（正社員）数
Q29	本社方針の適用範囲
Q30	本社と同じ方針を適用する支店・支社の所在地（※）該当者のみ回答
Q31	企業名・部署名・メールアドレス等

1 本社の所在地を一つ選択してください。（単回答）

- ・登記上の本社と実務上の本社が異なる場合は、実務上の本社を選択してください。
 - ・複数の本社が存在する場合は、勤務する従業員数が最も多いオフィスを選択してください。
 - ・次の設問以降、本設問で回答した本社を想定してご回答ください。
- 該当する番号に✓をお願いします。

☐	1 東京都特別区内	☐	6 京都市内
☐	2 大阪市内	☐	7 神戸市内
☐	3 名古屋市内	☐	8 広島市内
☐	4 札幌市内	☐	9 福岡市内
☐	5 仙台市内		10 その他（自由回答）

10 その他（自由回答）

2 本社オフィスの保有・契約形態について、該当するものを選択してください。（単回答）

該当する番号に✓をお願いします。

☐	1 自社保有	☐	2 賃借
--------------------------	--------	--------------------------	------

3 本社オフィスの使用面積（入居するビル内における、自社利用しているオフィスの面積）について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）

※1坪＝3.3㎡。正確な数値が不明な場合はおおよそでかまいません。
該当する番号に✓をお願いします。

☐	1 50坪未満	☐	6 500～999坪
☐	2 50～99坪	☐	7 1,000～1,999坪
☐	3 100～199坪	☐	8 2,000坪以上
☐	4 200～299坪	☐	9 わからない、不明
☐	5 300～499坪		

4 本社オフィスが入居するビルの延床面積（ビル全体の床面積）について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）

※1坪＝3.3平方メートル。正確な数値が不明な場合はおおよそでかまいません。
該当する番号に✓をお願いします。

☐	1 1,000坪未満	☐	3 5,000坪以上
☐	2 1,000～4,999坪	☐	4 わからない、不明

5 本社オフィスの築年数について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）

該当する番号に✓をお願いします。

☐	1 5年未満	☐	7 30年以上35年未満
☐	2 5年以上10年未満	☐	8 35年以上40年未満
☐	3 10年以上15年未満	☐	9 40年以上45年未満
☐	4 15年以上20年未満	☐	10 45年以上50年未満
☐	5 20年以上25年未満	☐	11 50年以上
☐	6 25年以上30年未満	☐	12 わからない、不明

6 テレワークの実施状況に関する設問です。現在の出社率について、数値を記入してください。（数値回答）

- ・なお、テレワークのみの勤務の場合は出社率0%、テレワーク制度が無い場合は出社率100%となります。
- ・数値は0%～100%の範囲で回答してください。

%

7 事業戦略のうち、人材獲得（新卒・転職双方）・離職防止（リテンションの確保）の観点から貴社で取組む施策について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答）

該当する番号に✓をお願いします。

☐	1 賃金引き上げ
☐	2 福利厚生制度の拡充
☐	3 多様な人材が働きやすい制度の拡充（育児支援、介護支援等）
☐	4 柔軟な働き方に対応する制度の拡充（テレワーク、フレックス、副業、社内起業等）
☐	5 人的資本関連情報開示の充実
☐	6 オフィス環境整備（オフィスビル内・専有部内の利便性・快適性向上、コミュニケーション空間やリフレッシュスペースの充実、ダイバーシティ対応等）
☐	7 オフィスの立地変更（交通利便性や周辺の利便性が高いエリアへの移転）
☐	8 本社または主要な地方支社への拠点集約
☐	9 その他（自由回答）
☐	10 該当するものはない … 10を選択する場合は複数回答不可

9 その他（自由回答）

8 オフィスの変更（レイアウト変更・縮小・拡張・移転等）状況について該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- ☐
- 1 直近5年程度（2021年夏頃～2025年）にオフィスの変更をした
-
- ☐
- 2 今年（2026年）中に変更した・変更を予定
-
- ☐
- 3 ここ数年のうち（～2029年頃まで）に変更予定
-
- ☐
- 4 時期は未定だが変更予定
-
- ☐
- 5 変更予定はないが、今後方針を検討したい
-
- ☐
- 6 オフィス変更をしたい又は検討したが、難しいと考えている
-
- ☐
- 7 特に検討していない ⇒
- Q10-2へ**

9 【Q8：オフィスの変更（レイアウト変更・縮小・拡張・移転等）状況】に関して【7以外の回答】を選択した方にお伺いします。
オフィスの変更理由または変更したい理由として該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- ☐
- 1 事業規模の拡大（人員増強、出社率上昇等）
-
- ☐
- 2 統合による拠点集約
-
- ☐
- 3 賃料等、コスト負担の軽減
-
- ☐
- 4 テレワークの定着等による出社率低下
-
- ☐
- 5 多様な人材が働きやすいオフィス環境整備（ダイバーシティ対応等）
-
- ☐
- 6 魅力的なオフィス環境の整備（利便性向上（周辺環境等）、快適性向上（福利厚生施設の充実等））
-
- ☐
- 7 生産性向上に資するオフィス環境の整備（1人あたりのスペース拡張、コミュニケーション空間・リフレッシュスペースの充実等）
-
- ☐
- 8 エネルギー性能の向上等、環境配慮の充実
-
- ☐
- 9 求める立地条件の変更
-
- ☐
- 10 入居しているオフィスビルの建て替え
-
- ☐
- 11 その他（自由回答）
-
- ☐
- 12 該当するものはない

11 その他（自由回答）

10-1 【Q8：オフィス変更の検討状況】で【1、2】を選択した（オフィス移転をすでに決定した）方にお伺いします。
オフィス移転時に、入居するオフィスビル及び周辺環境に求めた条件についてお伺いします。以下の各選択肢の重要度をお答えください。（選択肢ごとに単回答）
重要度は
・必ず求める項目を「①必須」とお答えください。
・「①必須」を選択しなかった項目のうち、その重要度を「②重要度は高い」、「③重要度は中間程度」、「④重要度は低い」の3つの段階で評価してください。
・求めない項目は「⑤求めない」とお答えください。
（例：主要顧客と近接性を重視し、その付近のオフィスを探す場合には「主要顧客・主要取引先との距離」を「必須」）
下記表の該当する番号に✓をお願いします。

NO.	①	②	③	④	⑤
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

- 【①必須、②重要度は高い、③重要度は中間程度、④重要度は低い、⑤求めない】
- 賃料
 - 最寄り駅までの距離
 - 中心市街地に所在
 - 主要顧客・主要取引先との距離
 - 鉄道・路線バスに係る交通利便性（アクセス性、複数路線が利用できる等）
 - 近距離移動の利便性（シェアサイクル、マイクロモビリティ等）
 - 築年数
 - 1フロアの面積
 - 災害リスクに対する性能と対応の充実度（高い耐震性や非常時電源などのハード面）
 - 災害リスクに対する性能と対応の充実度（避難誘導計画策定、防災備蓄、災害時一時受入などのソフト面）
 - セキュリティ性能
 - エネルギー性能の向上等、環境配慮の充実度
 - 周辺における飲食店の充実度
 - 周辺における娯楽施設（映画館・ボウリング・カラオケ等）の充実度
 - 周辺における健康・医療関連施設（フィットネス・温浴・マッサージ・ゴルフ施設・クリニック等）の充実度
 - 周辺における生活サービス施設（ショッピング施設・スーパー等）の充実度
 - 回遊性（公園など散歩したくなる周辺環境）
 - ビル内のウェルビーイングの実現に係る対応（※）の充実度
 - 自然資本・生物多様性（生態系保護や緑化等）に関する情報開示の充実度
 - 人権配慮（資源調達時のフェアトレード等）に関する情報開示の充実度
 - 音環境・光環境・温熱環境・空気質など、執務環境の快適性が高いこと
 - 集中作業、Web 会議、コミュニケーション、リフレッシュなど、働き方に応じた多様なスペースがあること
 - 緑化、眺望など、自然を感じられる空間づくりがなされていること
 - テナントの満足度調査や要望対応など、入居後の運営改善の仕組みがあること

※ テナント企業が共用可能な会議室、コミュニケーション促進施設、健康増進施設、託児所、多言語対応、LGBTQ対応を図ること等

10-2 【Q8：オフィス変更の検討状況】で【1、2以外】を選択した方にお伺いします。
今後オフィスを移転する場合（移転予定が無い場合でも、仮に移転した場合を想定してお答えください）
入居するオフィスビル及び周辺環境に求める条件として、以下の各選択肢の重要度をお答えください。（選択肢ごとに単回答）
重要度は
・必ず求める項目を「①必須」とお答えください。
・「①必須」を選択しなかった項目のうち、その重要度を「②重要度は高い」、「③重要度は中間程度」、「④重要度は低い」の3つの段階で評価してください。
・求めない項目は「⑤求めない」とお答えください。
（例：主要顧客と近接性を重視し、その付近のオフィスを探す場合には「主要顧客・主要取引先との距離」を「必須」）
下記表の該当する番号に✓をお願いします。

NO.	①	②	③	④	⑤	【①必須、②重要度は高い、③重要度は中間程度、④重要度は低い、⑤求めない】
1						1 賃料
2						2 最寄り駅までの距離
3						3 中心市街地に所在
4						4 主要顧客・主要取引先との距離
5						5 鉄道・路線バスに係る交通利便性（アクセス性、複数路線が利用できる等）
6						6 近距離移動の利便性（シェアサイクル、マイクロモビリティ等）
7						7 築年数
8						8 1フロアの面積
9						9 災害リスクに対する性能と対応の充実度（高い耐震性や非常時電源などのハード面）
10						10 災害リスクに対する性能と対応の充実度（避難誘導計画策定、防災備蓄、災害時一時受入などのソフト面）
11						11 セキュリティ性能
12						12 エネルギー性能の向上等、環境配慮の充実度
13						13 周辺における飲食店の充実度
14						14 周辺における娯楽施設（映画館・ボウリング・カラオケ等）の充実度
15						15 周辺における健康・医療関連施設（フィットネス・温浴・マッサージ・ゴルフ施設・クリニック等）の充実度
16						16 周辺における生活サービス施設（ショッピング施設・スーパー等）の充実度
17						17 回遊性（公園など散歩したくなる周辺環境）
18						18 ビル内のウェルビーイングの実現に係る対応（※）の充実度
19						19 自然資本・生物多様性（生態系保護や緑化等）に関する情報開示の充実度
20						20 人権配慮（資源調達時のフェアトレード等）に関する情報開示の充実度
21						21 音環境・光環境・温熱環境・空気質など、執務環境の快適性が高いこと
22						22 集中作業、Web 会議、コミュニケーション、リフレッシュなど、働き方に応じた多様なスペースがあること
23						23 緑化、眺望など、自然を感じられる空間づくりがなされていること
24						24 テナントの満足度調査や要望対応など、入居後の運営改善の仕組みがあること

※ テナント企業が共用可能な会議室、コミュニケーション促進施設、健康増進施設、託児所、多言語対応、LGBTQ対応を図ること等

11 【Q10】において【「11 セキュリティ性能」に関して「①必須」または「②重要度は高い」】と回答した方にお伺いします。
ビルのセキュリティに関する以下の項目について、必要性に関して該当するものを選択してください。（選択肢ごとに単回答）
下記表の該当する番号に✓をお願いします。

NO.	①	②	③	【①必須、②必要性が比較的高い、③必要性は低い】
1				1 専有部の入室制限用のセキュリティゲート
2				2 共用部や来客スペースへの入室制限用のセキュリティゲート
3				3 防犯カメラによる監視システム
4				4 夜間・休日等の侵入警報システム

12-1 現在の入居物件の賃料について、仮に賃料改定の要求があった場合、オフィスの解約・移転の検討を開始すると思われる上昇額として、該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

	1 金額に関わりなく、現在より賃料増額となる場合には解約・移転を検討する
	2 1,000円/坪程度以上の賃料増額要求があった場合には解約・移転を検討する
	3 3,000円/坪程度以上の賃料増額要求があった場合には解約・移転を検討する
	4 5,000円/坪程度以上の賃料増額要求があった場合には解約・移転を検討する
	5 わからない

12-2 現在の入居物件に関して、直近2年以内で賃料改定の要求の有無及びその対応状況について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

	1 賃料改定要求は無かった
	2 賃料改定要求があり、要求を受け入れた
	3 賃料改定要求があり、解約・移転を検討したが、交渉の結果、減額をして要求を受け入れた
	4 賃料改定要求があり、解約・移転を検討したが、交渉の結果、増額無しで入居を継続した

12-3 【Q12-2】で【1以外】を選択した方にお伺いします。
賃料改定の要求があった方に伺います。賃料増額の要求額として、該当するものを一つ選択してください。（単回答）

	1 1～1,000円/坪程度の賃料増額要求があった
	2 1,001～3,000円/坪程度の賃料増額要求があった
	3 3,001～5,000円/坪程度の賃料増額要求があった
	4 5,000円/坪超の賃料増額要求があった

13 今後、現在入居しているオフィスの賃料が上昇し、移転を検討する場合を想定してください。その際、移転先のオフィスに求める条件について、各項目の優先度をそれぞれお答えください。（選択肢ごとに単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

NO.	①	②	③	【①優先度が特に高い（必須）、②優先度は比較的高い、③どちらでもない】
1				1 最寄り駅までの距離
2				2 中心市街地に所在
3				3 主要顧客・主要取引先との距離
4				4 鉄道・路線バスに係る交通利便性（アクセス性、複数路線が利用できる等）
5				5 近距離移動の利便性（シェアサイクル、マイクロモビリティ等）
6				6 築年数
7				7 1フロアの面積
8				8 災害リスクに対する性能と対応の充実度（高い耐震性や非常時電源などのハード面）
9				9 災害リスクに対する性能と対応の充実度（避難誘導計画策定、防災備蓄、災害時一時受入などのソフト面）
10				10 セキュリティ性能
11				11 エネルギー性能の向上等、環境配慮の充実度
12				12 周辺における飲食店の充実度
13				13 周辺における娯楽施設（映画館・ボウリング・カラオケ等）の充実度
14				14 周辺における健康・医療関連施設（フィットネス・温浴・マッサージ・ゴルフ施設・クリニック等）の充実度
15				15 周辺における生活サービス施設（ショッピング施設・スーパー等）の充実度
16				16 回遊性（公園など散歩したくなる周辺環境）
17				17 ビル内のウェルビーイングの実現に係る対応（※）の充実度
18				18 自然資本・生物多様性（生態系保護や緑化等）に関する情報開示の充実度
19				19 人権配慮（資源調達時のフェアトレード等）に関する情報開示の充実度
20				20 音環境・光環境・温熱環境・空気質など、執務環境の快適性が高いこと
21				21 集中作業、Web 会議、コミュニケーション、リフレッシュなど、働き方に応じた多様なスペースがあること
22				22 緑化、眺望など、自然を感じられる空間づくりがなされていること
23				23 テナントの満足度調査や要望対応など、入居後の運営改善の仕組みがあること

※ テナント企業が共用可能な会議室、コミュニケーション促進施設、健康増進施設、託児所、多言語対応、LGBTQ対応を図ること等

14 環境配慮対応が図られているビルに入居した場合、コスト（賃料、電気料金等のオフィス使用に係る費用）負担として許容できる範囲について、該当するものをつ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

	1 賃料上昇によるコスト負担増は許容できない ⇒ Q16-1 または Q16-2 へ
	2 1～1,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる
	3 1,001～3,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる
	4 3,001～5,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる
	5 全てのコスト（賃料、電気料金等のオフィス使用に関するコスト）を織り込んだコスト増を許容できる
	6 環境配慮対応をしているビルに入居しているため、コスト増は考慮していない ⇒ Q16-1 または Q16-2 へ
	7 その他（自由回答）
	8 わからない ⇒ Q16-1 または Q16-2 へ

7 その他（自由回答）

15 【Q14 で2～5、7】を回答した方にお伺いします。
コスト負担を許容する際に、環境配慮対応の実現に向けて求める要素について、下記から該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

	1 省エネルギー性能（エネルギー消費量やCO2排出量が削減）が高い設備・機能を備えている
	2 再生可能エネルギー由来の電力が活用可能
	3 第三者認証制度（BELS、DBJグリーンビルディング認証、CASBEE、LEED等）を取得している
	4 再生資源の利用促進や、廃棄物の発生抑制を推進している
	5 ビルに木材（CLT等）を活用している
	6 屋上・壁面緑化を施している
	7 自社のサステナビリティ情報開示に活用できるデータがオーナーから提供される
	8 エネルギー使用量、CO2 排出量、再エネ利用状況等がテナント別または分かりやすい単位で把握できる
	9 その他（自由回答）
	10 わからない … 10を選択する場合は複数回答不可

9 その他（自由回答）

16-1 【Q8：オフィス変更の検討状況】で【1】を選択した（オフィス移転をすでに実施または決定した）方にお伺いします。

以下の各選択肢のうち、実際のオフィス移転に際して、利用可能になった設備をすべて選択ください。
また、選択した設備について、期待する効果もしくは実感した効果を以下の選択肢からご回答ください。
なお、効果は以下の選択肢①～⑥から該当するものをすべてご選択ください。（項目ごとに複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- 選択肢①～⑥：感じられた（成果が得られた）効果
- ① 新入社員・中途社員といった人材獲得
 - ② 従業員満足度の向上（離職防止、リテンション）
 - ③ 生産性の向上
 - ④ 企業業績の向上
 - ⑤ 効果はみられなかった
 - ⑥ 新たに導入していない

NO.	①	②	③	④	⑤	⑥
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						

- 1 共用会議室（専有部の会議室を除く）
- 2 社内コミュニケーション促進機能を持つ施設・空間（カフェスペース・バーカウンター・専有部のファミレス席等）
- 3 個室ブース
- 4 リフレッシュスペース（個人で小休憩できるスペース）
- 5 シェアオフィス
- 6 医療施設（医療・保健相談が可能な施設）
- 7 健康増進施設（ジム、ヨガ等が実施できるスタジオ等）
- 8 シャワーブース
- 9 緑のあるくつろげる空間（壁面緑化、植栽又は木材利用等）
- 10 社員食堂
- 11 コンビニ、飲食店等
- 12 喫煙室
- 13 屋上スペース
- 14 駐輪場
- 15 託児所
- 16 パウダールーム
- 17 多言語対応・ジェンダーレス対応設備（トイレ等）
- 18 宗教施設（祈禱室等）

16-2 【Q8：オフィス変更の検討状況】で【1以外】を選択した方にお伺いします。

以下の設備やサービス等の中で、ビル専有部内にあることが望ましい設備・サービスを「ビル専有部」、
ビル共用部内にあることが望ましい設備やビル共用部内で使用したいサービスを「ビル共用部」、
ビル内でもビル周辺部にあれば望ましい設備・サービスを「ビル周辺」、
特に望まない設備・サービスを「なくてもよい」として、項目毎に該当するものを選択してください。（項目ごとに単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- 選択肢①～④：設備・サービスをどのような位置に望むか
- ① ビル専有部
 - ② ビル共用部
 - ③ ビル周辺
 - ④ なくてもよい

NO.	①	②	③	④
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

- 1 共用会議室（専有部の会議室を除く）
- 2 社内コミュニケーション促進機能を持つ施設・空間（カフェスペース・バーカウンター・専有部のファミレス席等）
- 3 個室ブース
- 4 リフレッシュスペース（個人で小休憩できるスペース）
- 5 シェアオフィス
- 6 医療施設（医療・保健相談が可能な施設）
- 7 健康増進施設（ジム、ヨガ等が実施できるスタジオ等）
- 8 シャワーブース
- 9 緑のあるくつろげる空間（壁面緑化、植栽又は木材利用等）
- 10 社員食堂
- 11 コンビニ、飲食店等
- 12 喫煙室
- 13 屋上スペース
- 14 駐輪場
- 15 託児所
- 16 パウダールーム
- 17 多言語対応・ジェンダーレス対応設備（トイレ等）
- 18 宗教施設（祈禱室等）

17 以下の設備やサービス等の中で、特に従業員の心理的な安定性・ストレス軽減等（それに伴う生産性の向上・離職防止）の観点から、オフィスビル内又は周辺に設置されていることが望ましいと考えるものを全て選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--|--|
| | 1 共用会議室（専有部の会議室を除く） |
| | 2 社内コミュニケーション促進機能を持つ施設・空間（カフェスペース・バーカウンター・専有部のファミレス席等） |
| | 3 個室ブース |
| | 4 リフレッシュスペース（個人で小休憩できるスペース） |
| | 5 シェアオフィス |
| | 6 医療施設（医療・保健相談が可能な施設） |
| | 7 健康増進施設（ジム、ヨガ等が実施できるスタジオ等） |
| | 8 シャワーブース |
| | 9 緑のあるくつろげる空間（壁面緑化、植栽又は木材利用等） |
| | 10 社員食堂 |
| | 11 コンビニ、飲食店等 |
| | 12 喫煙室 |
| | 13 屋上スペース |
| | 14 駐輪場 |
| | 15 託児所 |
| | 16 パウダールーム |
| | 17 多言語対応・ジェンダーレス対応設備（トイレ等） |
| | 18 宗教施設（祈禱室等） |
| | 19 該当するものはない・・・ 19を選択する場合は複数回答不可 |

18 従業員の働きやすさや健康への配慮（ウェルビーイング）の観点から、オフィスに導入することが望ましいと考える項目について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--|---------------------------------------|
| | 1 良好な音環境に配慮した執務スペース |
| | 2 自然光、適切な照度、グレア対策、眺望に配慮した執務環境 |
| | 3 空気質、換気、湿度、温熱環境の快適性・見える化 |
| | 4 集中作業・Web 会議・交流・休憩を使い分けられる多様なワークスペース |
| | 5 階段利用、歩行、ストレッチ等を促す身体活動促進の工夫 |
| | 6 防災備蓄、非常用電源、災害時の一時滞在等に対応した設備・サービス |
| | 7 該当するものはない・・・ 7を選択する場合は複数回答不可 |

19 これまでに採用活動において、採用に効果のあった項目について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--|---|
| | 1 立地の良さ |
| | 2 駅からの近さ |
| | 3 交通利便性が高い（鉄道・路線バスに係るアクセス性、複数路線が利用できる等） |
| | 4 周辺利便性が高い（周辺の飲食店・商業施設が充実） |
| | 5 周辺環境の回遊性（利用したくなる、歩きたくなる）が高い |
| | 6 築年数が浅い（新築または新築同様（築5年未満）） |
| | 7 1フロアの面積（1フロアあたりの床面積）が大きい |
| | 8 災害への備え（高い耐震性や非常時電源などのハード面）が充実 |
| | 9 災害への備え（避難誘導計画策定、防災備蓄、災害時一時受入などのソフト面）が充実 |
| | 10 セキュリティ性能（セキュリティゲートの設置やサイバーセキュリティ導入など）が高い |
| | 11 環境配慮やSDGsに貢献する（エネルギー性能が高い等、環境に配慮した）オフィスビル |
| | 12 社内コミュニケーション促進を図る施設（カフェスペース・バーカウンター・専有部のファミレス席等）の充実 |
| | 13 個人の生産性を高めるスペース（個人ブース等）の充実 |
| | 14 リフレッシュスペース（個人で小休憩できるスペース）の充実 |
| | 15 社員食堂の設置 |
| | 16 福利厚生施設（医療施設、ジム機能、シャワーブースなど）の充実 |
| | 17 多様な人材が働きやすい環境（バリアフリー機能や託児所など）の充実 |
| | 18 該当するものはない・・・ 18を選択する場合は複数回答不可 |

20 ウェルビーイングの実現に係る対応（※）が図られているビルに入居した場合、コスト（賃料、電気料金等のオフィス使用に係る費用）負担として許容できる範囲について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- | | |
|--|---|
| | 1 賃料上昇によるコスト負担増は許容できない ⇒ Q22△ |
| | 2 1～1,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる |
| | 3 1,001～3,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる |
| | 4 3,001～5,000円/坪程度までの賃料上昇は許容できる |
| | 5 全てのコスト（賃料、電気料金等のオフィス使用に関するコスト）を織り込んだコスト増を許容できる |
| | 6 ウェルビーイングの実現に係る対応をしているビルに入居しているため、コスト増は考慮していない ⇒ Q22△ |
| | 7 その他（自由回答） |
| | 8 わからない ⇒ Q22△ |

7 その他（自由回答）

※テナント企業が共用可能な会議室、コミュニケーション促進施設、健康増進施設、託児所、多言語対応、LGBTQ対応を図ること等

21【Q20で2～5、7を回答】した方にお伺いします。
コスト負担を許容できると回答した、ウェルビーイング対応を行うに際し、期待する効果について、下記から該当するものをすべて選択してください。
該当する番号に✓をお願いします。

- ☐
- 1 新入社員・中途社員といった人材獲得を促す効果
-
- ☐
- 2 従業員満足度の向上（離職防止、リテンション）を促す効果
-
- ☐
- 3 生産性の向上を促す効果
-
- ☐
- 4 企業業績の向上を促す効果
-
- 5 その他（自由回答）

5 その他（自由回答）

22【Q13で「6 築年数」に関して「①優先度が特に高い（必須）」または「②優先度は比較的高い」と答えた方、または【Q5で7～11】を回答した（築30年以上のビル入居している方）にお伺いします。以下の改修工事の対象となりうる項目のうち、築古ビルに今後もしくは継続的に入居するにあたり関連する改修工事実施の必要度に関して該当するものを選択してください。（選択肢ごとに単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- 選択肢①～④：改修工事実施の必要度
- ① 実施されないと入居はしない（必須）
- ② 必須ではないが改修されないと優先度が低下
- ③ 特段入居判断には影響しない
- ④ わからない

NO.	①	②	③	④	
1					1 災害対応の充実度（高い耐震性や非常時電源などのハード面）
2					2 災害対応の充実度（避難誘導計画策定、防災備蓄、災害時一時受入などのソフト面）
3					3 光熱水費等のコスト負担（省エネ性能が低い（省エネ照明設備導入有無・断熱性等））
4					4 対外的な環境配慮に係る情報開示・P Rに係る対応（※）
5					5 セキュリティ性能（セキュリティゲートの有無等）
6					6 情報通信環境（通信の安定性、十分な電気容量）
7					7 OAフロア（ケーブル設備の確保等の配線設備最適化）
8					8 共用エントランス等、受付機能・来訪者の待合空間の質
9					9 生産性向上につながる施設の充実度（共用会議室等）
10					10 快適なオフィス環境につながる施設の充実度（リフレッシュスペース、共用ラウンジ・テラス、屋上スペースの有無等）
11					11 多様な人材の働きやすさ（バリアフリー・ユニバーサルデザイン等への対応）
12					12 内外装のデザイン性
13					13 天井高
14					14 水回り（トイレ、パウダールーム等）
15					15 1フロアの面積と形状
16					16 立地の優位性（最寄り駅からの距離・周辺施設等、従業員にとっての働きやすさ）
17					17 歴史・ブランドイメージ（長い歴史を持つビルが持つ独自の雰囲気や、地域に根ざしたブランドイメージがある）

※ 再エネ導入による非化石証書の取得、エネルギー使用量・ゴミ排出量の可視化、環境認証の取得等

23【Q13で「6 築年数」に関して「①優先度が特に高い（必須）」または「②優先度は比較的高い」と答えた方、または【Q5で7～11】を回答した（築30年以上のビル入居している方）にお伺いします。築古ビルにおいて、貴社が必須と考える改修工事が実施され、仮に賃料改定の要求があった場合、オフィスの解約・移転の検討を開始すると思われる上昇額として、該当するものを一つ選択してください（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- ☐
- 1 金額に関わりなく、現在より賃料増額となる場合には解約・移転を検討する
-
- ☐
- 2 1,000円/坪程度以上の賃料増額要求があった場合には解約・移転を検討する
-
- ☐
- 3 3,000円/坪程度以上の賃料増額要求があった場合には解約・移転を検討する
-
- ☐
- 4 5,000円/坪程度以上の賃料増額要求があった場合には解約・移転を検討する
-
- 5 わからない

24 オフィスビルのオーナーによるデジタル技術やAIの活用（例：データ提供、設備の自動化、サービスの効率化等）によって、入居ビルにおいて実現されると望ましい効果を、以下の中から該当するものすべて選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- ☐
- 1 管理コスト（共益費など）の削減
-
- ☐
- 2 人手不足の解消
-
- ☐
- 3 従業員の生産性の向上
-
- ☐
- 4 オーナー提供データによる意思決定の迅速化・高度化（エネルギー使用量など）
-
- ☐
- 5 従業員の柔軟で多様な働き方の実現（働く場所・空間の選択肢拡大）
-
- ☐
- 6 従業員の新たなサービスやアイデア創出の促進（創発性の向上）
-
- ☐
- 7 セキュリティレベルの向上、情報セキュリティ対応業務の効率化
-
- ☐
- 8 災害・感染症等のリスクへの対応強化
-
- ☐
- 9 顧客対応の品質向上（顧客対応に充てる時間の拡充）
-
- ☐
- 10 その他（自由回答）
-
- ☐
- 11 わからない・具体的なイメージがない

10 その他（自由回答）

25 近年スマートビルディング（※エネルギー・資源の使用及び排出状況の管理・可視化、オフィスで活動する人々の行動をリアルタイムで可視化する技術等を備えたビル）の普及が進んでいますが、入居ビルに対して導入してほしいものはありますか。該当するものをすべて選択してください。
該当する番号に✓をお願いします。

- ☐
- 1 BEMS(※1)によるエネルギーの使用・管理状況の可視化・最適化
-
- ☐
- 2 テナント企業別の水使用量、ごみ排出量データの可視化（ダッシュボードなど）
-
- ☐
- 3 空気質、温湿度、CO2 濃度等の室内環境データの可視化
-
- ☐
- 4 人流データを活用したリアルタイム状況の把握(※)※ オープンスペースやトイレ、同ビルに入居する飲食店・カフェ等の空き状況、オフィスの出社人数等
-
- ☐
- 5 セキュリティに関するデータ(※)のテナントへの公開※ エレベーターや共有部に設置した防犯カメラ等の情報
-
- ☐
- 6 災害時・停電時・非常時のビル稼働状況や避難情報の提供
-
- ☐
- 7 サイバー・フィジカル・セキュリティ対策
-
- ☐
- 8 BIM(※2)によるビルの運用管理に係るデータ全体の可視化
-
- ☐
- 9 その他（自由回答）
-
- ☐
- 10 特に導入したいものはない

9 その他（自由回答）

※1 BEMS : BuildingandEnergyManagementSystemの略。各種センサーや監視装置、制御装置などの要素技術で構成されたシステムのことを指す。空調や照明などのエネルギー使用状況を見える化することができ、ビル全体を総合的に管理することが可能となるシステムを指す。
※2 Building Information Modellingの略。コンピュータ上に作成した主に3次元の形状情報に加え、建物の属性情報（各部位の仕様・性能、居室等の名称・用途・仕上げ、コスト情報等）などを併せ持つ建物情報モデルを構築するシステム。

26 近年、オフィスビルオーナーが、入居テナントや周辺の企業・住民へのサービスとして、先進的な取組を行っているケースがみられます。そのような取組のうち、オフィスの入居先を選ぶ際に「評価したい（入居判断にプラスに働く）」と感じるものとして、該当するものを3つまで選択してください。
（優先順に3つまでの複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- ☐
- 1 敷地内緑地スペースの開放
-
- ☐
- 2 ビル内イベントスペースの開放
-
- ☐
- 3 災害時の周辺企業・住民の避難拠点としてオープンスペースを提供
-
- ☐
- 4 地域住民向けの生活サービス施設の整備（医療施設等）
-
- ☐
- 5 インキュベーション施設でのイベント開催（イノベーション促進）
-
- ☐
- 6 地域イベントの開催（周辺企業や住民との交流イベント、近隣公園等の施設におけるイベント）
-
- ☐
- 7 周辺の交通アクセス整備（エリア循環バスの導入等）
-
- ☐
- 8 周辺飲食店の利用促進サービス（クーポン配布等）
-
- ☐
- 9 エリア全体をマネジメントする組織を設立し地域内連携やエリア価値向上を目指す取組
-
- ☐
- 10 該当するものがない

27 業種について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

- ☐

1 建設業

☐

2 製造業
- ☐
- 3 電気・ガス・熱供給・水道業

☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐

16 その他（自由回答）

28 国内支社・支店を含めた単体の従業員数（正社員数）について、該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

☐	1 50人未満	☐	4 500～999人
☐	2 50～99人	☐	5 1,000人以上
☐	3 100～499人		

29 これまで回答した本社オフィスの環境配慮対応・ウェルビーイングを実現するための対応に関連する施設・機能に対する考えを支店（複数本社の場合はもう一方を含む）にどこまで適用するか、適用方針として該当するものを一つ選択してください。（単回答）
該当する番号に✓をお願いします。

☐	1 支店はない ⇒ アンケート終了	☐	3 今後本社オフィスと同じ考えを適用予定
☐	2 支店はあるが適用する予定はない ⇒ アンケート終了	☐	4 すでに本社オフィスと同じ考えを適用済み

30 【Q29で3、4と回答】した企業にお伺いします。本社オフィスと同じ考えを適用する（した）支店の所在地として該当するものをすべて選択してください。
選択肢の中に該当するものがない場合には該当なしを選択してください。（複数回答）
該当する番号に✓をお願いします。

☐	1 東京都特別区内	☐	6 京都市内
☐	2 大阪市内	☐	7 神戸市内
☐	3 名古屋市内	☐	8 広島市内
☐	4 札幌市内	☐	9 福岡市内
☐	5 仙台市内	☐	10 該当なし …… 10を選択する場合は複数回答不可

以上でアンケートは終了となります。ご協力を賜りましてありがとうございました。最後となりますが、以下の欄にアンケートにご協力いただいたご担当者様の情報のご入力をお願い申し上げます。

1 企業名*	
2 部署名	
3 お名前	
4 メールアドレス	

※ *としている項目については必須回答となります。
※ メールアドレスを記入いただいた方には、本アンケートの結果を集計した調査結果を別途メールにてご連絡させていただく予定です。
※ 本調査は今後も毎年継続する予定となっております。このため、お名前、メールアドレスを回答いただいた方には、次回以降も回答依頼のご連絡させていただく場合もございますので、予めご承知おきください。